

健康登山者投稿作品

季節の絵手紙「シモバシラ」

八王子市 梶谷玲子 様



一步一步煩惱滅除

百八の階段を昇り、悩みや煩い事を取り除きましょう

二十七段 浮かれない

二十六段 お陰様の感謝を忘れない

二十五段 人を励まし勇気を与える温かい言葉

高尾山 季節散歩

暦の言葉

「二十四節気」
春分「しゅんぶん」

春分は三月二十日頃で、昼と夜の長さがほぼ等しくなります。この日を中日とした七日間が「春の御彼岸」となり、「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、この日を境に日脚が長くなり、安定した気候に移り変わっていきます。

今月の行事

火渡り祭

高尾山では毎年三月第二日曜日に自動車祈祷殿大広場にて、全国の霊山で修行を重ねた山伏達が集い、春を呼ぶ「高尾山火渡り祭」が厳修されています。火渡り行の「火生三昧」では山伏に続き、大勢の参拝者が浄火を素足で踏みしめ、諸願成就を祈願します。

高尾山の昆虫

ニワハンミョウ

ハンミョウという名を聞くと、「ミチオシエ」として親しまれている。極彩色の虫を思い浮かべることでしよう。

タイガービートルとも、斑猫とも異名をとる肉食性の昆虫で、地面をまるで滑走するように足早に歩行し、近づくと一定の距離を保ちながら、人の先に先にと軽快に飛んでは着地を繰り返す。「ミチオシエ」とはよく言ったものだと思わせられます。

高尾では前述の鮮やかなナミハンミョウより、むしろよく目に付くのは、やや小型で地味なニワハンミョウです。

ややくすんだ色合いながら、暗緑色、暗銅色、紺色等の色彩変化があります。上翅には中央部に勾玉を思わせるような形状の白い紋があり、末端近くにも小さな白紋を備えます。

地表に紛れそうな体色ですが、飛ぶ姿は金属光沢を帯びて美しく、ハンミョウの仲間であることを十分に認識させます。

ニワの名のように人家の周りから山地まで広域に見られ、晴れた日の山道でよく出会いますが、実際に道案内をしてくれるかどうかは、自己判断となります。



(撮影:文松島 孝)

ねはん会の集い(二月一日)

主催 八王子市仏教会

去る二月一日、八王子市いちようホールに於いて『ねはん会の集い』が行われた。午後十二時半より、八王子市内各宗派の僧侶による涅槃会法要、午後一時からは、テレビ等で多くの時事問題を平易に解説されている池上彰先生による『世界の中で宗教を考える』と題した記念講演が行われ、満員となったホールの聴衆の皆様は、先生の話に耳を傾けられていた。



各宗派の僧侶による涅槃会法要



満員となったホールで、池上彰先生の講演に聴き入る聴衆

二月十五日(釈尊入滅の日)

高尾山釈尊涅槃会

お釈迦様が入滅されたと伝わる二月十五日に、釈尊涅槃会が行われました。有喜苑・仏舍利塔内において法要が営まれた後に、書院内に飾られた「高尾涅槃図」の前で、お釈迦様の御遺徳を偲び、懇ろに供養されました。高尾涅槃図には、お釈迦様が入滅された時の弟子達、動物達の悲しむ様子と共に、天狗やムササビなども描かれております。



お釈迦様の御遺徳を偲び、高尾涅槃図の前で法要が営まれた